

*** ロータスクラブより ***

文化祭より行事を再開致しました。
まだまだ“3密”や感染予防を行いながらの開催のため内容を縮小し、院内だけの開催となりました。開催の様子などを報告させていただきます。



11月度ロータスクラブ「文化祭」

ロータスクラブ実行委員

街中の木々が少しずつ色づき始めた11月8日、ロータスクラブ文化祭が開催されました。開催テーマは「コロナに負けるな!」。「密閉」「密集」「密接」を避けて感染予防を徹底しつつ、離れた場所からでも人々の心を繋げ、楽しかったロータスクラブをもう一度復活させる、という前例にないチャレンジです。

開催にあたってはプログラムを午前・午後の二部制とし、会場・全病棟・デイケアを映像で繋ぎ、演奏やゲームはZOOM配信にして、飽きないよう参加型で楽しんでもらうにはどうしたらいいかなど思試行錯誤を重ねました。

当日は、接続の不具合で開始時刻が少し遅れてスタート。会場が不安に包まれたとき「よそでこれだけのことをやろうと思ったら2000万はかかるー。業務しながら準備してくれた」と北斗会会長の澤温先生（前ロータスクラブ会長）が挨拶の中で仰ってください、気持ちを持ち直すことができました。そこから司会お二人が機転の利いたトークと笑顔で上手にプログラムを進めてくださいました。

最初は、保育室のスタッフが事前撮影してくださいました。カトレア幼稚園のかわいい園児たちの映像でした。踊ったり、歌ったり、笑ったり…子どもたちの笑顔はコロナに負けないほど輝いていました。

次は、七星会音楽部の生ライブ&映像。今回は管楽器を使用せず、打楽器での演奏で、前日まで業務終わりに集まって練習され、リモートでも素敵な音楽をしっかりとみなさんに届けてくださいました。

○×クイズは係の方がアドリブを効かせて

進めてくださり、患者さんが楽しめるよう各会場のスタッフが一生懸命動いてくださいました。あとで聞いた話には、集計は大変だったようですが患者さんはとても盛り上がっていたそうです。

オカリナ演奏では、ボランティアの小倉さんと北斗会会長が素敵な音を奏でてくださり、「オカリナがこんなに綺麗な音だとは思わなかった」とコメントされた患者さんもいらっしたそうです。最後に、現ロータスクラブ会長の澤滋先生からロータスクラブへの思いとスタッフへの労いの言葉をいただき、無事に会を終えることができました。

アンケートは60枚回収、全体で8割強の方が「大変良かった」「良かった」と評価いただいた一方で、「食べ物以外の景品がほしい」「音声聞き取りにくかった」等貴重なご意見をいただきました。今後の課題として、次回に繋がれたらと思います。

*** ご意見箱へのご投稿 ***

○俳句

M. O.

・生きていく上り坂越え 赤とんぼ

I. M.

・落花生 カントリーバーのブリキの缶

○P o m e 全てへ

ふくろう

わからない人や物はそれでいい
わかってくれる人や物はありがたい
人にはそれぞれの考えや思いがあり
似ている人もあり、違う人もある
只、それはそれでいい
そんなものだ・・・

* ロータス 社会医療法人北斗会広報 *
* 第175号 2020年12月10日発行 *
* 発行責任者：理事長 澤 滋 *
* 編集担当者：鹿島 裕未 *
* 印刷所：ときヨシ 印刷部 *
